

師走を迎えて

分所長 高木 敏彦

令和五年も後少しで終えて新年の令和六年を迎えます。振り返りますと、コロナ禍がようやく収まり、絶えていた月次祭後の直会が再開した年でした。しかし、コロナの後はイスラエルとパレスチナとの紛争が始まり世界情勢が予断を許さない状況です。二年後の令和七年には、綾部にて歌祭りを長生殿前の神苑にて実施をすることが教主様より発表されました。それまでに世界平和を実現させて盛大に開催されることを皆で祈りたいものです。寒い時期ですので、お体に気を付けて、人型宣教にお励みよい年をお迎えください。

楽天にいきましょー！

天内 緋佳里

皆さんはACPをご存知ですか？昨今、「もしも話」などと言われ取り組みが活発になっているため、病院受診した際などに目にしたり、聞いたことがある方も多いかもしれません。ACPとは、アドバンスケアプランニングの略で、簡単に言えば「重篤な病気になったときや最期を迎えるときに、どのような医療やケアを望むのか、どのように過ごしたいのか本人が主体で家族や医療者と事前に話し合っていく取り組みのことです。例えば、「最期は自宅で過ごしたい」「や」呼吸器などで無理に延命治療してほしくない」といった希望があると思うのですが、それを叶えるために共有しておくことが目的で

す。そしてこれは、差し迫った状況になってからではなく、病状が落ち着いていたり健康なときから話し合っておくものです。これには、人それぞれその人生観、価値観が大きく影響してきます。

先月の分所の大祭で前田特派より、「つらいとき苦しいときの考え方」の講話をいただきました。その講話の中で私が強く印象に残った言葉が二つあります。それは、「自分の心の中の状態が、その後行く霊界の状態」と「取越苦労と過越苦労は良くない」ということです。私はちよつどその頃、仕事上の計画などやらなくてはいけないことだらけでいっぱいになっており、さらに人から言われたことや反省点などが頭を支配し疲弊していました。まさに、取越苦労・過越苦労ばかりしており、ネガティブ思考で暗く陰鬱な状態です。この言葉を聞き、「私がいいたいのは暗く陰鬱な場所じゃない。明るくて穏やかな場所にいたい」と思い直すことができました。そして、幼少期を振り返ると確かに純粹にその日そのときを生きていたなと思い、「なるがままにしかならないのだから、考えすぎはやめよう」と前向きな気持ちになることができました。考えすぎの癖は一朝一夕に直せるものではありませんが、今では深刻に悩みそうになる直前に「でも、なるようにしかならないし、やってみるしかないよね」と少しづつ気持ちの切り替えができるようになりました。日々トレーニングを重ね、この思考が身に着けられるように努めていきたいと考えています。どんなときにも、明るく穏やかで過ごせることが今の私の理想で

あり、目標です。皆さんの大切にしていることは何ですか？少し恥ずかしいかもしれませんが、ご家族やご友人と人生観や価値観を話し合っで共有してみると、新たな発見や気付きがあるかもしれません

主な行事予定

- 12月10日(日) 少年冬季学級 三河本苑にて
- 12月10日(日) 午後1時半より 碧南分所月次祭 担当第3班
- 12月17日(日) 午前10時より 三河本苑月次祭・全体会議
- 12月24日(日) 万祥殿献勞奉仕
- 令和6年 1月1日(月) 午前9時

- 碧南分所元旦祭 午前十一時より 第2ブロック当番
- 1月14日(日) 午後1時半より 碧南分所月次祭 担当第1班

12月の誕生者

おめでとーいぞいます！

- 蒲生 昌直 2日 奥谷 孝 坂部 真司 3日
- 澤田 俊絵 5日 坂部 文彦 9日 市古 正弘
- 蒲生 眞矢 10日 坂野 愛 13日 鈴木 明
- 美 14日 小川 隆 20日 坂野 花 23日
- 石川 雅祥 25日